

平成27年7月16日

千葉市長 熊谷俊人様

千葉市都市局指定管理者選定評価委員会
会長 石井慎一



指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について (答申)

平成27年4月14日付け27千都都総第29号で諮問のありました標記の件について、別紙の公園部会及びスポーツ部会からの報告のとおり答申します。



平成27年7月16日

千葉市都市局指定管理者選定評価委員会
会長 石井 慎 一 様

千葉市都市局指定管理者選定評価委員会
公園部会
部会長 石井 慎 一

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

平成27年4月14日付け27千都総第29号で、千葉市長から諮問のあった標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり決定したので報告します。

記

- 1 稲毛海浜公園花の美術館（三陽メディアフラワーミュージアム）
 - (1) 指定管理者 公益財団法人千葉市みどりの協会
 - (2) 部会の意見
 - ア 年度評価
 - (ア) 利用者数の漸減に対し、ソフト面での工夫が行われていると認められるが、引き続き新たな魅力あるイベントの実施などを検討していくこと。
 - (イ) 施設職員とボランティアの連携体制を構築し、サービスの向上を図ること。
 - (ウ) 稲毛海浜公園を訪れた人を花の美術館に呼び込むための方策を検討すること。
 - イ 総合評価
 - (ア) 美術館の名称にふさわしい、花や緑に関するアート作品を展示するイベントなどがあると良い。
 - (イ) 利用者数の増加を図るため、マンネリを打破するための方策等の提案を求めること。
- 2 稲毛海浜公園教養施設（稲毛記念館、海星庵、野外音楽堂、稲毛民間航空記念館）
 - (1) 指定管理者 公益財団法人千葉市みどりの協会
 - (2) 部会の意見
 - ア 年度評価
 - (ア) 講習室内に展示物があることが理解されていないため、案内を分かりやすくすること。
 - (イ) 子供向けからマニア向けまで多様なイベントを検討してもらいたい。
 - (ウ) 引き続きイベントとプロモーション活動を充実させていくこと。
 - イ 総合評価
 - (ア) 4施設一体としてのイメージやコンセプトの下で各施設のマネジメントを行うことが必要である。
 - (イ) 市における今後の稲毛海浜公園の見直し内容を踏まえ、花の美術館も含めた一体的な視点での維持管理、PRを検討すること。

3 都市緑化植物園みどりの相談所

(1) 指定管理者 公益財団法人千葉市みどりの協会

(2) 部会の意見

ア 年度評価

(ア) 利用者数が増加していることに加え、自主事業も充実しており、いろいろな面で努力していることが認められる。

(イ) 利用者数が増加した理由を把握し、今後に生かしていくこと。

(ウ) 樹木の専門家やボランティア団体との関係も良好であると認められるため、今後もより良い運営を期待する。

(エ) ボランティアによる活動が持続できるよう後継者の育成にも配慮していくこと。

イ 総合評価

(ア) 次期指定管理期間においてもボランティア団体との良好な関係が維持できるよう配慮すること。

(イ) 現指定管理者の良いサービスを継続していけるよう配慮すること。

4 亥鼻公園集会所

(1) 指定管理者 株式会社塚原緑地研究所

(2) 部会の意見

ア 年度評価

(ア) 全般的には良好な管理運営が行われていると認められる。

(イ) PRに力を入れているとは認められるが、認知度は低いままであるため、引き続きPR活動を行っていくことが必要である。

(ウ) 亥鼻公園周辺が掲載されたパンフレットの作成など、近隣施設との連携を検討すること。

イ 総合評価

(ア) 良好な維持管理が行われていると認められるため、次期指定管理期間においてもより良いサービスが実施されるよう適切な指導を行っていくこと。

(イ) 指定管理期間の切り替えに伴い利用者の利便性が損なわれないよう配慮すること。

平成27年7月16日

千葉市都市局指定管理者選定評価委員会
会長 石井 慎一 様

千葉市都市局指定管理者選定評価委員会
スポーツ部会
部会長 石井 慎一

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

平成27年4月14日付け27千都総第29号で、千葉市長から諮問のあった標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり決定したので報告します。

記

1 千葉マリスタジアム（QVCマリフィールド）

(1) 指定管理者 株式会社千葉ロッテマリーンズ

(2) 部会の意見

ア 年度評価

(ア) 維持管理は良好に行われていると認められる。

(イ) 対応可能な意見やニーズに迅速に対応し、管理運営に取り入れていくこと。

(ウ) 一般市民向けのサービスを工夫すること。

(エ) アンケートについては、マリーンズファン以外の方も気軽に回答できるようなものを導入していくこと。

(オ) 高齢者等のバリアフリー対策については、ソフト面での取り組みを検討すること。

イ 総合評価

(ア) 利用者と来場者を分けて把握し、双方へのサービスを実施すること。また、サービスの対象をマリーンズファン以外にも広げていく方策を検討すること。

(イ) 数字では表しにくい市民サービスの向上を選定・評価において考慮していくための方法を検討すること。

(ウ) 利益の還元等をどう考えているかが選定の際に明らかになるよう検討すること。

(エ) モニタリングやサービスの実施にあたっては、対象を明確にした上で行っていくこと。